

みずほCustomer Desk Report 2025/08/04 号 (As of 2025/08/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	150.80 AUD/USD
TKY 9:00AM	150.81	1.1420	172.28	1.3207	0.6428
SYD-NY High	150.91	1.1597	172.35	1.3309	0.6493
SYD-NY Low	147.30	1.1392	170.35	1.3143	0.6419
NY 5:00 PM	147.40	1.1586	170.87	1.3278	0.6475
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,588.58	▲ 542.40	日本2年債	0.8100%	▲0.0100%
NASDAQ	20,650.13	▲ 472.32	日本10年債	1.5500%	0.0000%
S&P	6,238.01	▲ 101.38	米国2年債	3.6786%	▲0.2816%
日経平均	40,799.60	▲ 270.22	米国5年債	3.7546%	▲0.2222%
TOPIX	2,948.65	5.58	米国10年債	4.2149%	▲0.1661%
シカゴ日経先物	40,045.00	▲ 750.00	独10年債	2.6770%	▲0.0155%
ロンドンFT	9,068.58	▲ 64.23	英10年債	4.5235%	▲0.0430%
DAX	23,425.97	▲ 639.50	豪10年債	4.3210%	0.0470%
ハンセン指数	24,507.81	▲ 265.52	USDJPY 1M Vol	9.68%	0.51%
上海総合	3,559.95	▲ 13.26	USDJPY 3M Vol	10.17%	0.47%
NY金	3,399.80	51.20	USDJPY 6M Vol	10.02%	0.34%
WTI	67.33	1.93	USDJPY 1M 25RR	▲1.25%	Yen Call Over
CRB指数	295.28	▲ 4.49	EURJPY 3M Vol	8.88%	0.47%
ドルインデックス	99.14	▲ 0.83	EURJPY 6M Vol	8.91%	0.33%

東京	東京時間のドル円は150.81レベルでオープン。加藤財務相から為替市場の動向を憂慮しているとの発言があるも影響は限定的で、ドル円は150円台後半で方向感を探る展開。海外時間に米7月雇用統計の発表も控えるなか動意は薄く、結局150.55レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ドル円は150.55レベルでオープン。市場はアジア時間のリスクオフのセンチメントを引き継ぎ、欧州株は下落。米雇用統計の発表を控え、ドル円は150.30～150.65のレンジで方向感なく推移。最終的にドル円は150.51レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	NY市場のドル円は、朝方に発表された注目の米7月非農業部門雇用者数変化が予想を下回ると、市場はドル売りで反応。続いて発表された米7月ISM製造業景況指数も予想を下回った事が一段の売り要因となり、147.50付近まで大幅下落。午後はクグラーFRB理事の辞任報道を受け、終盤にかけて147.30まで値を下げ、その後147.40レベルでクロス。一方、ユーロドルは前述の低調な米経済指標の結果を受け、ドルが売られる中、1.1590付近まで上伸する底堅い推移。午後は1.1540付近まで反落する場面もあったが、クグラーFRB理事の辞任報道を背景としたドル売りから1.1597まで戻し、その後1.1586レベルでクロス。

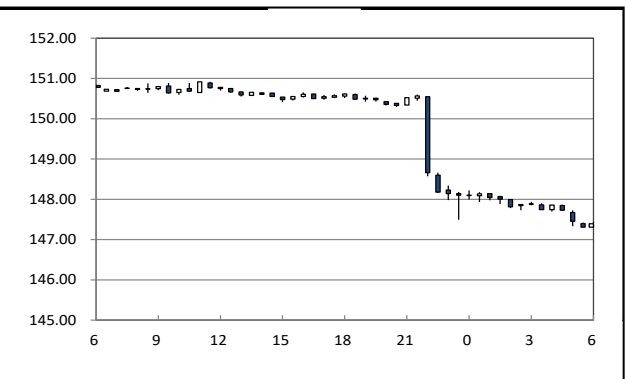
国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の指標等】

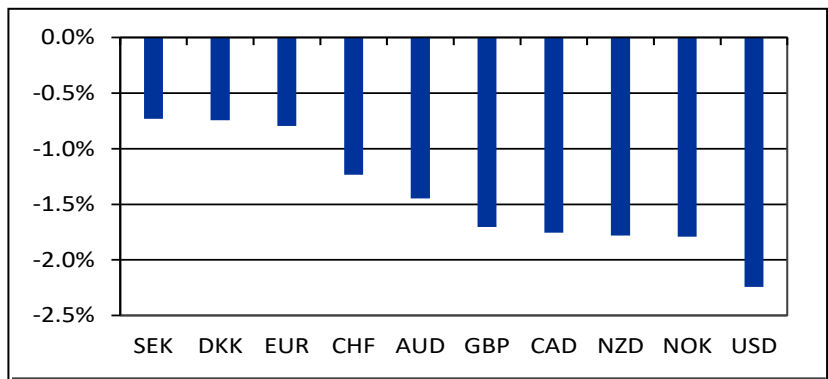
Date	Time	Event	結果	予想
8月1日	08:30	日 失業率	6月 2.5%	2.5%
	10:30	豪 PPI(前期比/前年比)	2Q 0.7%/3.4%	—
	16:55	独 製造業PMI・確報	7月 49.1	49.2
	17:00	欧 製造業PMI・確報	7月 49.8	49.8
	18:00	欧 CPI(前年比/前月比)・速報	7月 2.0%/0%	1.9%/−0.1%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	7月 73k	104k
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	7月 0.3%/3.9%	0.3%/3.8%
	21:30	米 失業率	7月 4.2%	4.2%
	22:45	米 製造業PMI・確報	7月 49.8	49.7
	23:00	米 ISM製造業景況指数	7月 48.0	49.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	6月 −0.4%	0.0%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	7月 61.7	62.0

Date	Time	Event	予想	前回
8月4日	23:00	米 製造業受注(前月比)	6月 −4.8%	8.2%
	23:00	米 製造業受注(除輸送)	6月 0.2%	0.2%
	23:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	6月 −9.3%	−9.3%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	6月 0.2%	0.2%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	146.00-148.00	1.1470-1.1670	169.30-171.30

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日に発表された米7月雇用統計では、ヘッドラインは失業率は4.2%へと上昇(市場予想通り)し、非農業部門雇用者数は+73千人(予想+104千人)とまずまずの結果となった。一方でマーケットの注目は過去2ヵ月分が計▲258千人分の下方修正となったことに集まった。この結果、3ヵ月の月平均は+35.3千人となり、雇用市場の急速な鈍化が意識された。債券市場では9月のFOMC会合、さらに年内の利下げを大幅に織り込みに行く動きが進んだ。同日に発表された米7月ISM製造業景況指数も予想比下振れしており、市場はリスクオフに転じている。さらに、トランプ米大統領が雇用統計の内容を受けマッケンターファーBLS局長の解任を発表し、クグラーFRB理事が辞任を発表するなど市場の不透明感が高まっている。リスクオフの展開からクロス円の下げは継続し、ドル円も上値重く推移すると予想。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。